

ミレニアル世代

2019.8.1 (木) 掲載

米国で主にマーケティング戦略で使われる言葉。一般に1981～96年生まれの23～38歳を指す。「ミレニアル」は「千年紀（ミレニアム）」の形容詞で、2000年代に社会進出した世代。物心ついた頃からIT機器を使う「デジタルネイティブ」で、成長期に米同時多発テロを経験し、多様性を重視するとされる。

日本でも20代を指す言葉として使われることがある。JTB総合研究所は平成初期（1989～95年）生まれの世代と定義。SNSで情報を収集し、旅行に積極的な傾向があるという。ゆとり教育を受けた「ゆとり世代」と重なり、好景気を知らず現状に不満が少ないとの分析もある。

世代を表す言葉はほかにもある。米国では46～64年生まれを「ベビーブーマー」、65～80年生まれを「X世代」と呼ぶ。日本では47～49年生まれを指す「団塊」や、50年代後半～64年生まれの「新人類」などが知られる。65～69年生まれの好景気就職組は「バブル世代」、就職氷河期だった70～84年生まれは「ロストジェネレーション」と呼ばれる。

日米の主な世代の呼称
(年齢層は2019年時点)

| 米国 | | 日本 |
|-------------------|-----|--------------------------|
| サイレント 74～91歳 | 70代 | 団塊 70～72歳 |
| ベビーブーマー 55～73歳 | 60 | 新人類 50代後半～60代前半 |
| X世代 39～54歳 | 50 | バブル世代 50代前半 |
| | 40 | ロストジェネレーション 30代後半～40代 |
| ミレニアル 23～38歳 | 30 | |
| | 20 | ミレニアル (ゆとり) 20代 |
| Z世代 ～22歳 | | |

情報出所 : nikkei4946.com